



ちよこつと通信



平成 27 年 2 月 20 日

華頂短期大学附属幼稚園 第 252 号

劇遊び「へんなゆめ」

鞍馬山に行ってからとっても身近な存在になった天狗さん。運動会や造形展などではイメージを広げ天狗を様々なかたちで表現してきました。牛若丸の絵本や DVD を見たり「天狗のはうちわ」という紙芝居を見たりしたのですが、もっと天狗が出てくる楽しいお話がないかな・・・と思って探していたら「へんなゆめ」という絵本に出会いました。上方落語「天狗さばき」というお話が土台になっているようですが、気持ちよさそうにうたた寝をしていた主人（あんた）が奥さん（おさきさん）に「どんなゆめみたん？」と聞かれ「夢なんかみてへんで・・・」と教えてあげなかったことから、話が思わぬ方向にどんどん進んでいきます。最後に登場する天狗は良い人なのか、はたまた悪い人なのか・・・？それは話が終わってわかる、ちょっとハラハラドキドキするお話でした。子どもたちに読んでみると、話の途中に（家主さん）や（お奉行さん）（ちょうやくにん）など子どもたちには聞きなれない言葉が出てき「それって何？」と聞く場面もありました。子どもたちにわかるように言葉をかえ読み進めると、最後には「な～んや！そういうことか！」とほっとした様子。そして自分が今までに見た夢の話をしたり、どんな夢か絵をかいてみたりしました。「ぼくは夢は見ることがないです。」と話す A くんには担任も思わず「毎日ぐっすり寝ることができていいね！」と言って声をかけました(笑) ちなみに・・・

あおい1組の皆とお出
かけして、お泊りした夢を
見たよ！

怖いオバケが出てきて、
「助けて～！」ってさけん
でいたよ！！

面白いきのこをみつ
けて、ずっ～ともって
いた夢をみた！

など、ひとりひとり楽しい話を聞かせてくれました。

そして、このお話で劇遊びをしたら面白いかな・・・と思いやってみることに。昔の言葉やイメージにくい役は皆で話し合い、子どもたちの言いやすい言葉、馴染みのある人物にかえてすることにしました。何度も絵本を読み自分なりにイメージを広げやりたい役を決めました。そして役ごとにどんなセリフにしようか、どんな物持っているとお客さんにわかりやすいかな・・・どんな動きをしてみようか・・・など、何度も何度も役ごとに話し合いました。「先生、絵本見せて！」と頭を寄せ合いながら見て相談している姿に（自分たちで考え、意見を言い合えるようになって皆とても素敵だな・・・）と嬉しく思った担任です。また、セリフも少し簡単な言葉にし「こう言ってみたらどう？」と言っても「先生！ぼくこの難しいセリフ覚えたし、このまま言うわ！」と昔の言い回しを楽しんでいる子もいました。子どもたちのアイデアがいっぱいつまった【あおい1組の「へんなゆめ」】をクラス皆でのびのびと表現し、全員で楽しみたいと思っています。

